

一 般 質 問 発 言 通 告 内 容

個人第1号 氏 名 舟橋 秀和

質 問 項 目 No. 1	防災訓練を踏まえた防災力の向上について	備 考
要 旨	<p>令和4年10月30日3年ぶりに防災訓練が開催された。当日は、市総合防災訓練の他、各小学校区でも地域協議会などと連携して、避難所運営などの訓練が実施された。市内で連携しながら防災訓練を実施したのは初めてのことであるが、災害に適切に対応するために訓練をきちんと検証し、今後に生かす必要がある。</p> <p>(1) 市総合防災訓練について 応時中学校で開催された市総合防災訓練について、参加者数や実施内容を問う。</p> <p>(2) 小学校区の防災訓練について 市総合防災訓練と同時開催した小学校区の防災訓練について、参加者数や実施内容を問う。</p> <p>(3) 避難所について ア 災害用トイレの整備状況について問う。 イ 段ボールベッドの整備状況について問う。 ウ コロナ禍の状況で実施された避難スペース訓練を踏まえると避難所収容人員の不足が心配されるが、その対応について問う。 エ 福祉避難所の拡充について問う。</p>	

質 問 項 目 No. 2	旧図書館跡地の利活用について	備 考
要 旨	<p>旧図書館跡地については、『小牧市中心市街地グランドデザイン』で民間活力を導入した公園の整備の検討、推進を図ることとされており、今年度から検討が進められている。そして、11月24日に『小牧市旧図書館跡地の公園整備運営事業に関するサウンディング型市場調査実施要領』が公表され、現在はサウンディング参加事業者の募集が行われている。</p> <p>(1) 今後の予定について 今年度の検討経過と今後の予定について問う。</p> <p>(2) 地域連携について 公園整備の検討にあたり、地域との連携についてどう考えているのかを問う。</p>	

質問項目 No. 1	企業版ふるさと納税の取組と今後の見通しについて	備考
要 旨	<p>(1) 現状の納税実績と傾向について ア 直近の納税実績と件数の推移について伺う。 イ 近隣市町の納税実績と件数について伺う。</p> <p>(2) 取組状況と工夫している点について ア 小牧市の特色を生かしての取組内容について伺う。 イ 企業にとってのメリットは何か伺う。</p> <p>(3) 今後の見通しについて 企業版ふるさと納税の人材派遣型についての取組について伺う。</p>	

質問項目 No. 1	在宅医療・介護の連携について	備考
要 旨	<p>切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するため、地域の実情に応じた取組内容の充実は、とても大切な事です。</p> <p>住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現を目指した取組もとても重要であります。コロナ禍で在宅医療（訪問診療等）を希望する患者が増えています。新型コロナの流行前に比べ、「自宅で最期を迎えたいと考える患者」「新たに在宅医療（訪問診療等）を希望する患者」が増えており、その理由は「入院中の面会制限」がもっとも多いと発表もされています。</p> <p>(1) 市内の医療機関数について 在宅医療に携わる病院やクリニックは、どれくらいありますか。</p> <p>(2) 在宅医療・介護連携の取組の現状について 具体的にどのようなサービスや取組をしていますか。</p> <p>(3) 地域包括支援センターの役割について 市内には5ヶ所、地域包括支援センターがあります。 高齢者に関する総合相談機関ですが、まだまだ浸透という点では十分でないと思います。困った事があれば気軽に相談できるよう周知や役割をもっと広げる必要があります。 詳細を伺います。</p>	
質問項目 No. 2	新型コロナワクチン接種の進捗状況について	備考
要 旨	<p>(1) 新型コロナワクチン接種の進捗状況について オミクロン株に対応した2価ワクチン BA.1 対応型、BA.4-5 対応型の接種が進んでいます。小牧市における、新型コロナワクチン接種の進捗状況についてお尋ねいたします。</p>	

質問項目 No. 1	アフターコロナを見据えた産業振興について	備考
要	<p>本市の産業振興は平成26年策定の企業新展開支援プログラムにより推進されている。しかし、令和元年10月の消費税増税や、2年春からの新型コロナウイルス感染症拡大に対する行動制限、人々の消費行動の変化、ウクライナ情勢や円安の影響による物価高騰等に多くの事業者が苦勞をしているものと思われる。現行プログラムの更新はコロナ禍で中断されたものの、本市は2年度よりWITHコロナの市内企業支援に取組み、本年度もコロナ対策として、こまきプレミアム商品券の拡充等、支援を継続しているが、社会情勢や生活様式の変化に対応した産業振興施策の更新が必要と思われる。</p>	
旨	<p>(1) アフターコロナを見据えた次期小牧市企業新展開支援プログラムについて ア 策定状況について問う。 イ プログラムの見直しポイント等内容について問う。</p> <p>(2) こまき新産業振興センターについて 企業のDX推進についての取組支援も行っていると聞かすが、センターの活動状況について問う。</p>	

質問項目 No. 2	各区自治会役員の負担軽減について	備考
要	<p>本年7月本市の区長会と市議会との意見交換会が行われ、10月には区長会から市に対し特別要望が提出された。多くの市民が地域活動の重要性を認識している一方で、近年地域コミュニティへの関心の低下、地域活動への参加者の減少、住民どうしの繋がり希薄化等の課題が取り沙汰され、本市でも各区自治会の加入率の低下が深刻な問題となっている。なかでも、負担の大きい自治会役員のなり手不足が、加入率低下の要因のひとつとなっていると考えられる。</p>	
旨	<p>(1) 「広報こまき」発行回数の見直しについて ア 区長を対象とした「広報こまき」発行回数見直し等に関するアンケートの結果について問う。 イ 参考情報として、県内各市の広報発行状況を問う。 ウ 発行回数見直しの今後の予定について考えを問う。</p> <p>(2) 各区自治会事務活動のデジタル化推進事業について 地域ICTプラットフォームを活用した、区長連絡網や、モデル区実証等の事業について、現在の状況を問う。</p>	

質問項目 No. 1	送迎バスでの置き去り防止対策について	備考
要 旨	<p>(1) 保育園、幼稚園等の送迎バスでの置き去り防止対策について</p> <p>ア 市内で送迎バスを導入している保育園・幼稚園等の数について伺う。</p> <p>イ 送迎バスでの置き去り事故を受け、市として保育園・幼稚園等に対して送迎バスの安全管理の徹底を行ったか伺う。</p> <p>ウ 国からの指導を受け、送迎バスの安全管理マニュアルを策定することになったが、どのように把握しているか伺う。</p> <p>エ 今後、送迎バスの安全管理について市はどのように関与していくのか伺う。</p>	

質問項目 No. 2	小学校での歯の健康の取組について	備考
要 旨	<p>(1) 給食後の歯みがき等の取組について</p> <p>ア 児童のう歯のない者の割合について伺う。</p> <p>イ 小学校におけるフッ化物洗口の実施状況について伺う。</p> <p>ウ 歯の健康教育の取組状況について伺う。</p> <p>エ 給食後の歯みがきの取組について伺う。</p>	

質問項目 No. 1	成年後見制度の取組について	備考
要 旨	<p>(1) 成年後見人の現状について これまでは成年後見人としてご家族以外に弁護士や司法書士などの資格を持つ方がなられていたと思うが、現在どのような方が選任されているか伺う。</p> <p>(2) 市民後見人について ア 専門職以外の新たな担い手として期待される市民後見人になるには、一定の知識や技術等が必要になってくると思うが、どのように養成されているのか伺う。 イ 市民後見人の必要性について、本市はどのように考えているか伺う。</p>	

質問項目 No. 2	子宮頸がんの予防対策について	備考
要 旨	<p>(1) HPVワクチンの積極的勧奨再開に伴う現状について 本年4月より定期接種の積極的接種勧奨の再開と接種機会を逃した女性への無料キャッチアップ接種が開始となったが、現在の状況について伺う。</p> <p>(2) 9価HPVワクチンについて HPVワクチンとして、これまでのサーバリックスとガーダシルに加え、令和5年4月からシルガード9（9価HPVワクチン）が定期接種として使えるようになるが、その対応について伺う。</p> <p>(3) HPV検査キットについて 子宮頸がん検診の受診率向上のために、HPV感染の有無を自宅で調べられる検査キットを配布もしくは助成する考えはないか伺う。</p>	

質問項目 No. 1	小牧市における小中学生の不登校について	備考
要 旨	<p>令和4年10月28日付けの中日新聞に「不登校の小中学生 最多24万人」「コロナ影響か 意欲低下」との見出しが掲載されていた。</p> <p>文部科学省の発表によると、全国の国公立小中学校において令和3年度の積算で30日以上欠席した不登校の児童生徒は24万4,940人となり、令和2年度より24.9%に当たる4万8,813人増えて過去最多であった。</p> <p>コロナの影響で、学校や家庭における生活や環境が大きく変化し、全国において過去最多の不登校数であったことは、大変危惧するところである。</p> <p>(1) 小牧市の小中学生の不登校対策について</p> <p>ア 不登校の児童生徒数の推移について問う。</p> <p>イ 令和3年度の不登校の児童生徒数が占める割合について問う。</p> <p>ウ 現在の対応状況について問う。</p>	

質 問 項 目 No. 1	現役世代の暮らしに重くのしかかる奨学金問題について	備 考
要 旨	<p>奨学金返還支援制度の創設については、令和2年第2回定例会において、制度創設の必要性を訴え取り組んできた。現役世代の暮らしに重くのしかかる奨学金問題は、昨今の物価高騰などの影響により、一層深刻化しており、ライフイベントに応じた施策が必要である。</p> <p>(1) 市内企業の人材確保・福利厚生に力点を置いた奨学金返還支援について</p> <p>ア 市独自の奨学金返還支援制度の創設の調査研究結果について、伺う。</p> <p>イ 市独自の奨学金返還支援制度創設の考えについて、伺う。</p> <p>ウ 2021年4月より、企業が社員の代わりに奨学金を貸与する日本学生支援機構に直接返還することで税制上の恩恵を受け得る「代理返還」制度が始まったが、市内企業へ参入・活用を促す考えについて、伺う。</p> <p>コロナ禍において、特にエッセンシャルワーカーへの支援対策が社会経済を適切かつ健全に維持する為の鍵であることが再確認された。質の高い保育士や介護職員の確保と定着に繋げる為、育成事業として奨学金返還を支援する自治体も増加しつつある。</p> <p>(2) エッセンシャルワーカー人材確保の為の奨学金返還支援について</p> <p>ア 市内保育園等で働く保育士の確保・定着の為の奨学金返還支援制度を創設する考えについて、伺う。</p> <p>イ 市内介護保険サービス事業所等で働く介護職員の確保・定着の為の奨学金返還支援制度を創設する考えについて、伺う。</p>	

質問項目 No. 2	子ども子育て No. 1 の小牧市がもっと配慮できること について	備考
要 旨	<p>10月16、17日と行われた第43回小牧市民まつりは、多くの来場者でにぎわい、活気あふれる2日間となった。親子連れも多く見かけ、改善点も見受けられた。</p> <p>(1) 外出先での育児シェアを念頭に置いた公共施設におけるベビーケアについて</p> <p>ア 赤ちゃんの駅の登録状況と公開状況について、伺う。</p> <p>イ 公共施設での赤ちゃんの駅登録箇所において授乳室がない場所や、男性がおむつ替えできない仕様になっている場所は把握しているか、伺う。</p> <p>イベント等での赤ちゃんの駅設置は、仮設トイレや休憩所の設置同様、保護者が安心して乳幼児を連れてイベントに参加できる事につながると考える。</p> <p>(2) イベント時に乳幼児への授乳・おむつ替えがしにくいことが外出のハードルとなっていることについて</p> <p>運動会やマルシェ、区のイベントなど市内で行われる野外イベントについて移動式赤ちゃんの駅を市が導入、貸し出しをするなどして、まち全体の協力で子育てを応援することは可能と考えるが、市の考えを伺う。</p>	

質問項目 No. 1	コロナ禍でのマスクの脱着について	備考
<p>要 旨</p>	<p>3年前、新型コロナウイルスが世界中に広がり国民はマスク生活を余儀なくされた。現在開催されているワールドカップでも観客はノーマスク。世界ではノーマスクでの生活を取り戻される情景が報道で映し出され、未だマスク生活が続く日本とのギャップに違和感を覚える。マスクによる弊害も問題視され、熱中症や酸素不足、頭痛、感覚過敏症、コミュニケーション不足等がある。現在、厚労省では屋外では原則不要、屋内ではマスク着用とするも、距離が確保され会話をほぼしない場合は除くとされている。しかし、未だ日本では屋外でもマスク着用の方が殆どでノーマスクが進んでいない。本市はTPOに合わせノーマスクを推奨すべきと考える。</p> <p>(1) 保育園における現在のマスク脱着状況について 厚労省の基準に基づいて、マスク脱着指導は行き届いているか。現状と対策を問う。</p> <p>(2) 小中学校における現在のマスク脱着状況について 厚労省の基準に基づいて、マスク脱着指導は行き届いているか。現状と対策を問う。</p> <p>(3) 職員における現在のマスク脱着状況について 厚労省の基準に基づいて、マスク脱着指導は行き届いているか。現状と対策を問う。</p> <p>(4) マスクによる弊害について マスクにより、熱中症や酸素不足による脳への影響や頭痛、感覚過敏症、コミュニケーション不足など問題視されているが、現状と対策を問う。</p>	

質問項目 No. 2	新型コロナウイルスワクチン接種における副反応等について	備考
<p>要 旨</p>	<p>新型コロナウイルスの影響を最小限に抑える為、国はワクチン接種を推奨し、現在接種（3～5回目）が呼びかけられている。救世主となりうるワクチンだが、反面その副反応等も昨今問題視されている。1回目のワクチン接種後、意識不明になりその後下半身不随になった例や本年11月5日、愛西市にて40代女性がB.A.4-5対応ワクチンを接種した5分後に体調が悪化し死亡した報道がされた。全国でも様々な事例報告があり、現在接種が伸び悩むのも接種後の副反応等への躊躇やこのような事例が明らかになってきた事等も理由と聞く。因果関係など検証していく段階にきている。</p> <p>(1) 本市における新型コロナウイルスワクチンによる副反応等への相談について 相談体制はどのようになっているか問う。</p> <p>(2) 本市における新型コロナウイルスワクチン接種による副反応等の疑いにより重症と思われる事例や因果関係について ア 重症化、死亡した件数を問う。 イ 重症化した内容を問う。 ウ 副反応等対策を問う。 エ ワクチンでの副反応等の疑いにおける重症化の因果関係について所見を問う。 オ 今後、重症化や死亡の因果関係の検証が続いていくことで愛西市の死亡事故はじめ、様々な副反応等の重症化問題等が判明する可能性があるが、その場合の責任はどのようになるのか問う。</p>	

質 問 項 目 No. 1	視覚障がい者の支援について	備 考
要 旨	<p>障がい者の方々は、日常生活を送る為に多くの困難がある。</p> <p>今年、視覚障がい者の方々と市の職員との現地調査に同行させて頂く機会があり、点字ブロック一つをとっても整備してあるから安心ではなく、利用者がより安心安全に使う為に適宜対応する必要があると感じたところである。視覚障がい者に限ったことではないが、日々障がい者の方々が暮らしやすくなるように、技術や道具も進化しているが、最近の物価高騰が影響し、満足に環境を整えられない方が増えていると聞く。既に日常から不自由を感じている方々の一助となるよう、以下の点を問う。</p> <p>(1) 視覚障がい者の方々について 現在、視覚障がい者の方々はどれくらい居るのか問う。</p> <p>(2) 視覚障がい者の歩行訓練について 視覚障がい者となった方はほとんどの方が歩行訓練を自力で行い、正しい歩行訓練を受ける事なく、白杖を使用していると聞く。市の対応について問う。</p> <p>(3) 視覚障がい者の日常生活用具の給付について ア 補助実績について問う。 イ 補助金額の基準額の設定について問う。</p> <p>(4) 点字ブロックの整備状況について 市内の点字ブロックの整備状況について問う。</p> <p>(5) 視覚障がい者が安心に集える場所について 視覚障がい者となった場合、支援等をどこで行っているか問う。</p>	

質 問 項 目 No. 2	ごみの戸別収集について	備 考
要 旨	<p>ごみ集積場の問題は、多くの区が抱える問題の一つである。住民同士の理解がなければ、集積場を作る事が難しい地域もある。また集積場のルールは区ごとに違う事から、住民トラブルの原因となるケースも聞くところである。こうした問題を解決すべく、ごみを出す責任を持たせる意味でも、戸別収集を導入すべきと考える。</p> <p>(1) 戸別収集について 現在の検討状況について問う。</p> <p>(2) こまやか収集について ア 実施状況について問う。 イ 利用人数の推移について問う。</p>	

質 問 項 目 No. 1	小牧オアシス関連対策について	備 考
要 旨	<p>小牧オアシスの工事が進んでおり、現在造成工事が令和 5 年 9 月末までの予定で行われている。</p> <p>(1) 開発許可について 造成工事や高速道路引き込み工事等が進められているが、本工事に関する開発許可はいつ、どのような内容で出されているのか伺う。</p> <p>(2) 周辺インフラ整備について 小牧オアシスの企画が進むと同時にインフラ整備に関する要望等も出ていると思う。 ア 地元要望はどんなものがあるのか伺う。 イ 市としてのインフラ整備の対応状況を伺う。</p>	

質 問 項 目 No. 2	東部まちづくりにおける環境整備について	備 考
要 旨	<p>令和 4 年 3 月に東部振興構想 2022～2031 年度が発行され、これを基に各種取組が進められている。</p> <p>(1) 東部まちづくりの取組について 現在、取り組まれている内容はどのようなものか伺う。</p> <p>(2) 環境整備について 構想の体系の中で、ビジョン 3.「訪れたいくなる、住みたいくなる魅力のあるまち」の地域資源において、「地域資源の保全、魅力向上及び発信の強化」がある。 ア 取組の方向において、2.「公園・緑道等を活用した魅力の発信」があるが、どのような活動を行っているのか伺う。 イ 東部地区は、市街化調整区域が多くあり、また、林野等の自然が多い地区である。自然が豊かである一方で、手入れがされていない、追いついていない状況であると思うが、市の考えを伺う。</p>	

質問項目 No. 1	小牧市中央図書館の施設の安全性について	備考
要 旨	<p>令和3年3月にオープンした小牧市中央図書館は2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。</p> <p>しかし、オープン直後に危険箇所が数箇所見つかったので直ぐに安全対策を取りました。幼児転落の恐れが考えられたバルコニー手摺の修繕や地下駐車場の歩行者安全確保のためのグリーンベルト設置などです。</p> <p>公共施設である図書館に最優先に求められることはデザインより安全性です。</p> <p>(1) 建物の設備等の点検について 月ごとに行なっている点検と、それに伴う修繕の内容を問う。</p> <p>(2) 建築物の耐震性について 耐震性の基準等について問う。</p>	

質問項目 No. 2	オーガニック給食の導入と給食無償化について	備考
要 旨	<p>令和4年10月に全国オーガニック給食フォーラムが東京都中野区で開催されました。子供たちの命と健康を守るために学校給食を有機食材にする動きが国内外で広がっています。</p> <p>また、小中学校の給食無償化は小都市から大都市へと広がっています。</p> <p>(1) オーガニック給食について 市として導入の考えを問う。</p> <p>(2) 学校給食無償化について 令和5年4月からの無償化について問う。</p>	

質 問 項 目 No. 1	幼稚園・認定こども園・保育園給食の無償化について	備 考
要 旨	<p>(1) 食材高騰による保護者負担軽減について</p> <p>ア 学校給食については年度末まで無償化となったが、幼稚園・認定こども園・保育園について、なぜ対象としないのか問う。</p> <p>イ 現在の保護者負担は、それぞれどれだけになっているのか問う。</p> <p>ウ 給食は保育の一環であることから見ても、給食費の無償化を考えるべきだと思うが、見解を問う。</p>	

質 問 項 目 No. 2	補聴器購入費助成制度の創設について	備 考
要 旨	<p>(1) 補聴器による認知機能低下予防の研究結果について</p> <p>ア 本年第 2 回定例会での答弁で「助成制度の導入については、補聴器による認知機能低下予防の研究結果等を注視していきたい」ということであった。進捗状況を問う。</p> <p>イ 2017 年に開かれたアルツハイマー国際会議では、難聴を放置することが、認知症の最大リスクと報告された。さらに 2020 年の報告では、予防できない認知症は 60%、予防できる認知症は 40%としています。40%のうち、難聴は 8%を占め、最大リスクとなっている。この報告をどのように受け止めるのか、見解を問う。</p> <p>(2) 市の取組について</p> <p>ア 特定健診に聴力検査を追加できないか問う。</p> <p>イ 難聴の早期発見、認知症予防のためにも早急な補聴器助成制度が必要と考える。見解を問う。</p>	

質 問 項 目 No. 1	桃花台線インフラ撤去について	備 考
要 旨	<p>(1) 桃花台線のインフラ撤去工事について ア 撤去工事の現在の状況について問う。 イ 撤去工事の今後の予定について問う。 ウ 交通規制、騒音対策などの施工方法について問う。</p>	

質 問 項 目 No. 1	市長のマニフェストについて	備 考
要 旨	<p>山下市長は 2011 年、「任期は 3 期 12 年」をマニフェストの重点項目に掲げ、5 選をめざした現職の多選を再三批判して初当選をされています。しかし、4 期目の立候補を表明されています。このことは選挙では優位になる現職を破るために、守らないマニフェストを掲げていることとなります。</p> <p>市民から「選挙に勝つためには何でもありなのか」「子供が生徒会長に立候補する時も実行しない約束をするのでは?」「市長は週刊ポストの記事があったのにまた出るの?」「コロナ禍でも 2 期 8 年で実績を残されバトンタッチする市長も見える」等の声が上がっています。</p> <p>(1) もっとも重要な市民との約束 (マニフェスト) について マニフェストを破る山下市長はペナルティーが必要だと考えます。4 期目に向けたマニフェストとして退職手当をゼロにする考えはないか伺います。</p>	

質 問 項 目 No. 2	小中学校トイレの洋式化について	備 考
要 旨	<p>小中学校トイレ洋式化の計画を確認すると令和 9 年度までに実施する予定であり、非常に遅い計画であると考えます。</p> <p>平成 30 年度から 10 年間もかかり、学区によっては小中学校在学中に一度も洋式化されたきれいなトイレを使えない子供たちがいることは、明らかにスピード感のない計画であると考えます。</p> <p>前回の選挙では山下市長のマニフェスト『学校のトイレ改修の加速』が挙げられていたが、実際は令和 3 年度 2 校、令和 4 年度 2 校の実施であり 9 校が未実施の状況です。</p> <p>市民からは「毎年 2 校で加速ですか?」等の声を頂いています。</p> <p>(1) 小中学校トイレ洋式化の実施について 山下市長のマニフェスト『学校のトイレ改修の加速』は毎年度 2 校の実施をすることなのかを伺います。</p>	

質問項目 No. 3	小中学校給食費の無償化について	備考
要 旨	<p>小牧市は「子育てにかかる費用は社会全体で負担すべきだ。」という素晴らしい考えから、第3子以降の子供の給食費を無償化しています。さらに物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減するため、11月から3月まで（5カ月間）学校給食費の無償化がされています。</p> <p>しかし、第3子以降は恒久的であるが、その他は一時的であり「子育てにかかる費用は社会全体で負担すべきだ。」の考えとは、矛盾しているように感じます。</p> <p>健全財政の小牧市なら学校給食の無償化は出来るはずですが、しかし、出来ていない現状に課題があると考えます。</p> <p>(1) 小中学校給食費の無償化実施について 山下市長は早期に学校給食の無償化が出来るのかを伺います。</p>	